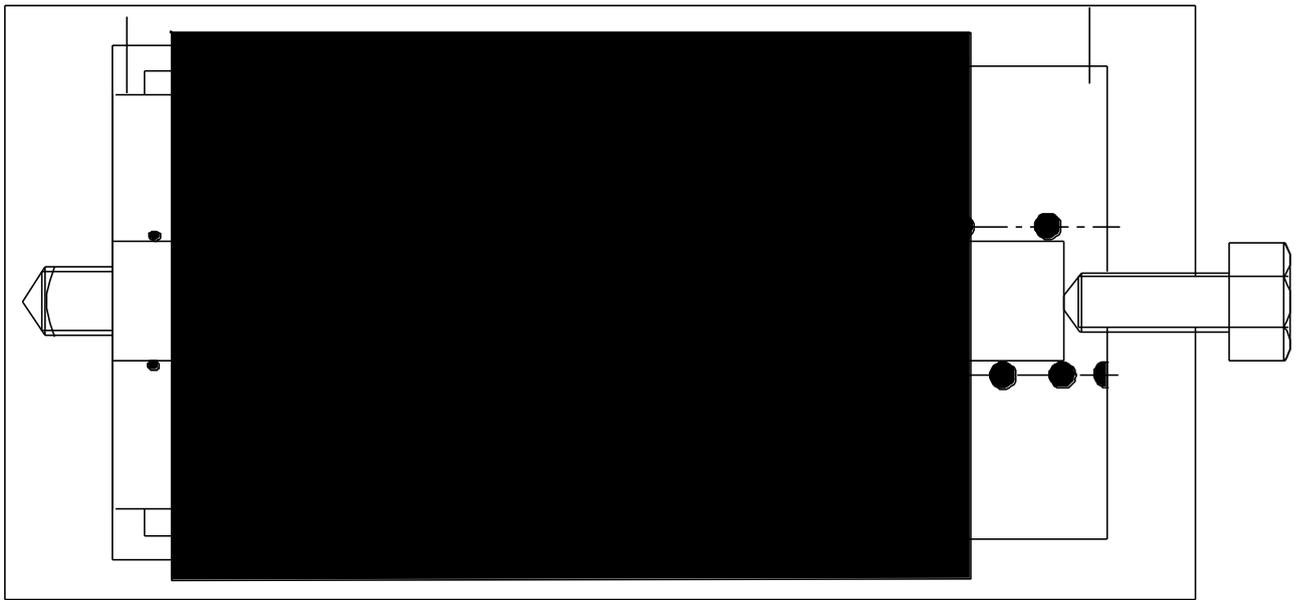


# 定流量弁

高压側  
給水口

低压側  
給水口

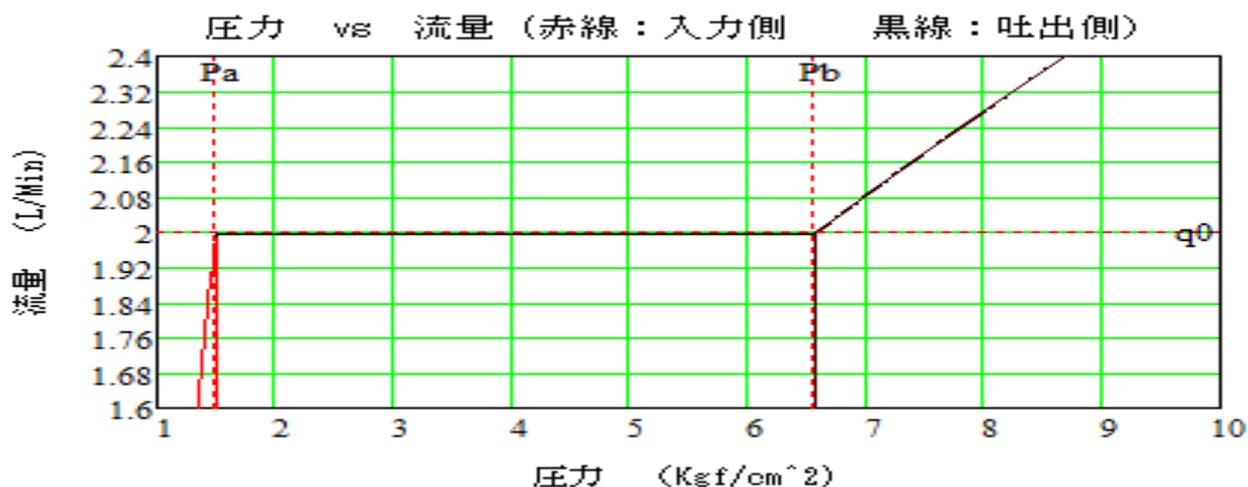


定流量弁

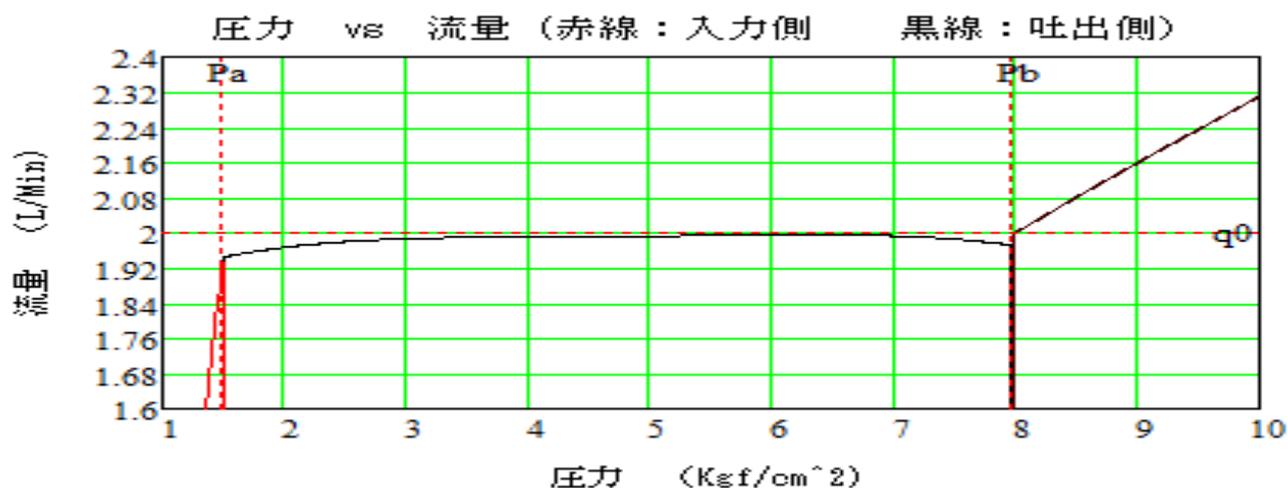
1-a) 水の例 (モデル No.W17510D22P16UHM1)

圧力 1.5~6.5Kgf/cm<sup>2</sup> までの範囲で約 2L/min の定流量となる。

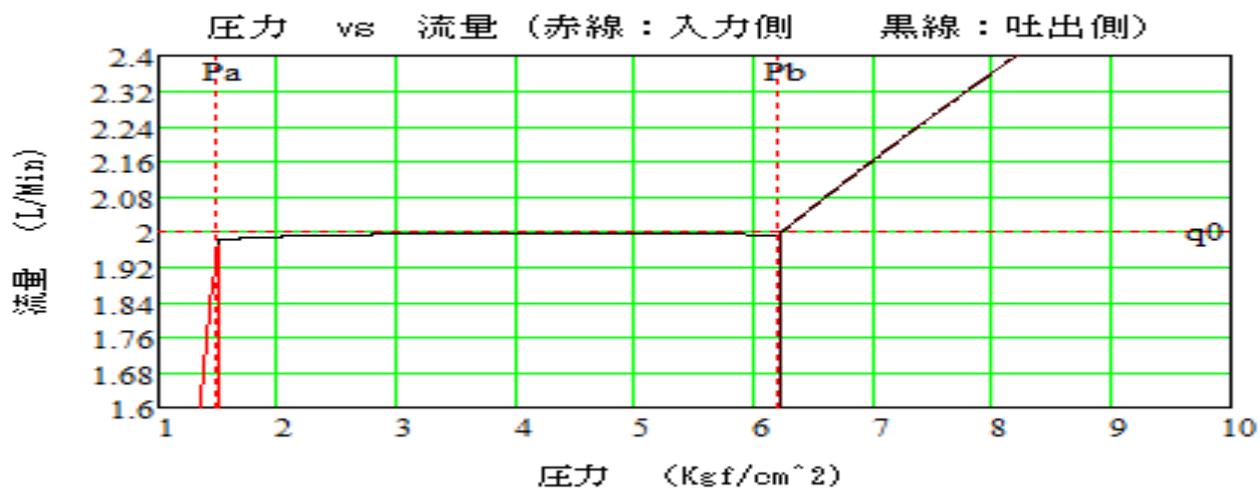
a) 水温 20℃ (一定流量 1.996L/min)



b) 水温 0℃ (一定流量 1.946~1.996L/min) a)と同一設計の場合



c) 水温 30℃ (一定流量 1.981~1.996L/min) a)と同一設計の場合



接液部は NiP メッキ+スプリングは SUS

本体中にスプリング以外のエネルギー源は使用していませんので半永久使用が可能です。

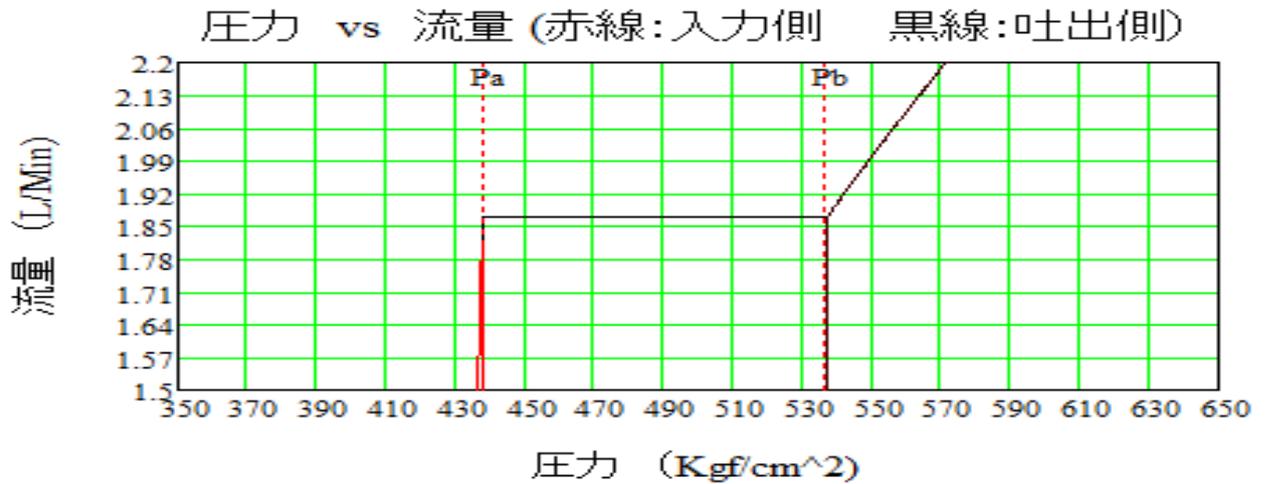
定流量弁

1-b) 潤滑油 SAE32 の例 (モデル No.W20010D82P68WBM7)

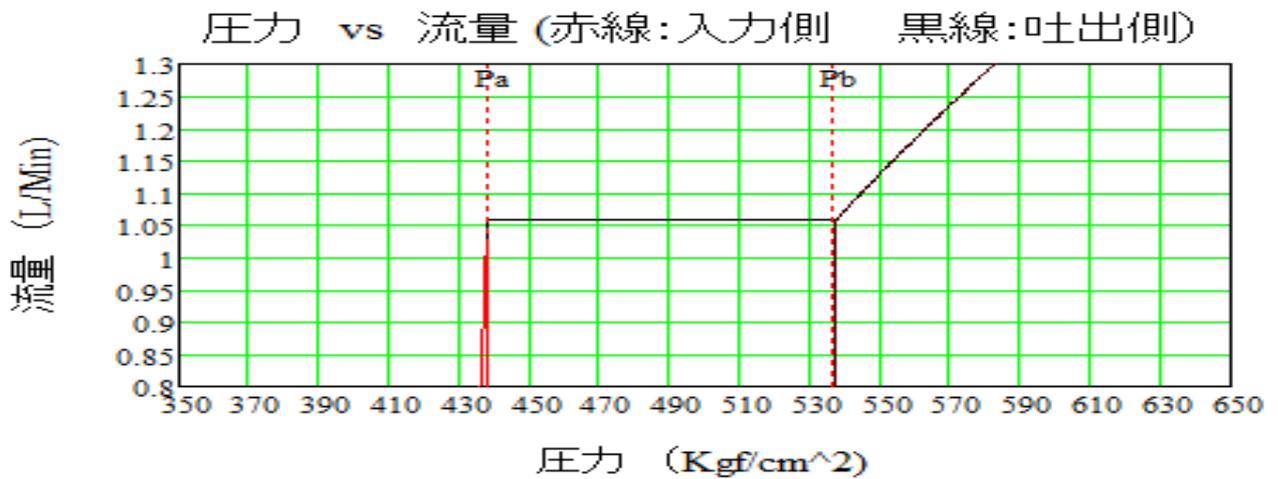
圧力 438~537Kg/cm<sup>2</sup> までの範囲で約 1.87L/min の定流量となる。

但し 潤滑油 SAE32 比重 0.85 温度 20℃

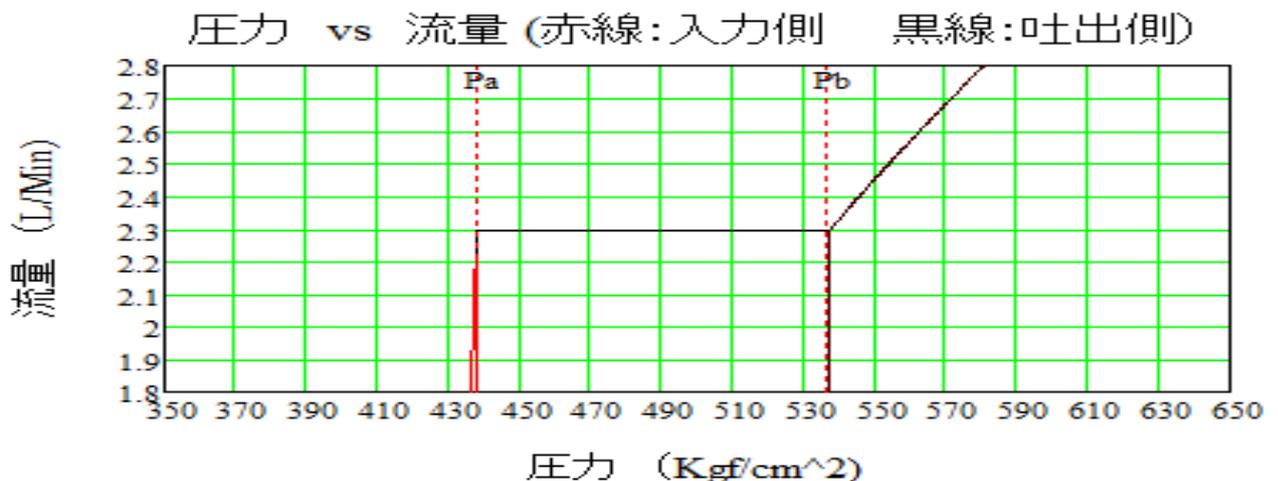
d) 油温 20℃ (一定流量 1.87L/min)



e) 油温 0℃ (一定流量 1.06L/min) a)と同一設計の時



f) 油温 30℃ (一定流量 2.29L/min) a)と同一設計の時



接液部は黒染め+スプリングは SWOS-C

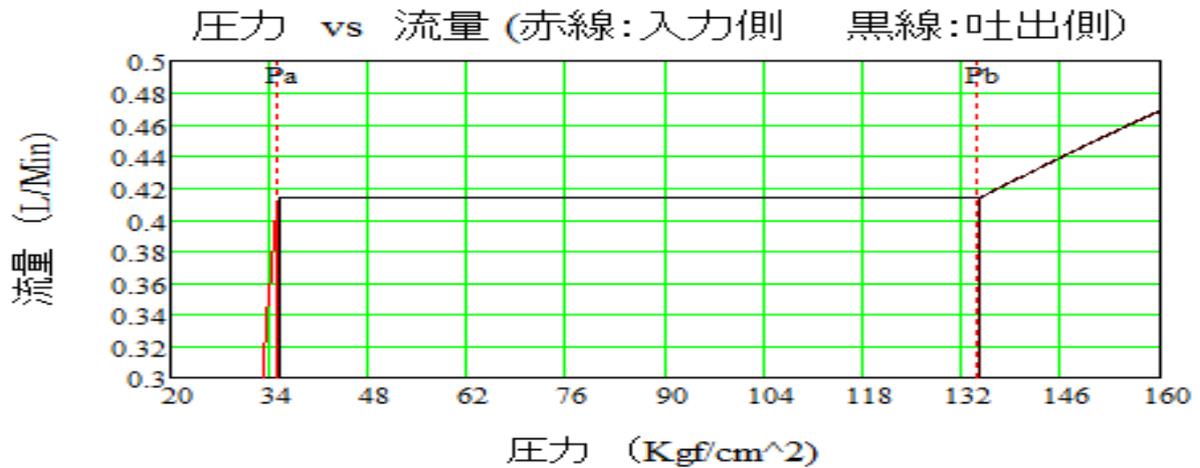
本体中にスプリング以外のエネルギー源は使用していませんので半永久使用が可能です。

定流量弁

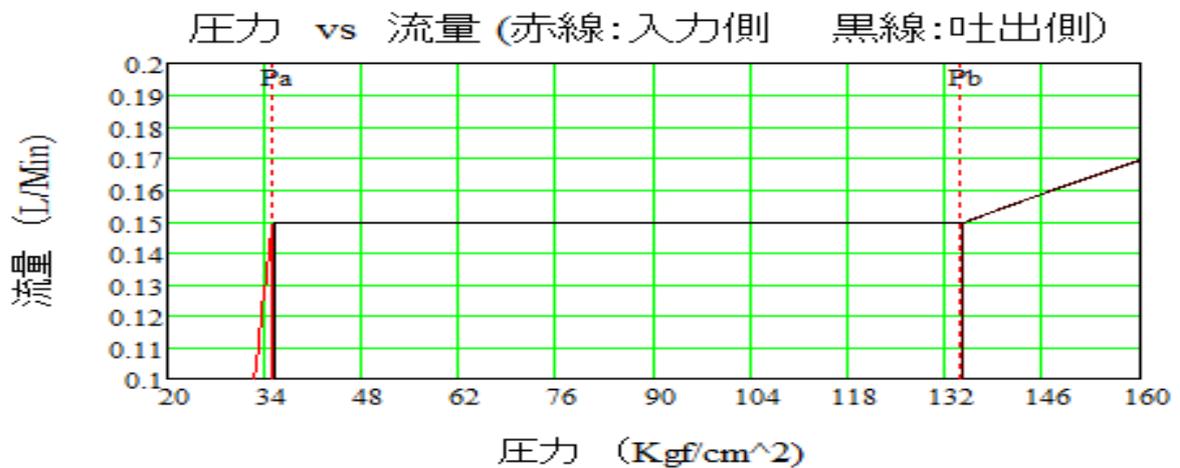
1-c) 高粘度液体の例 (モデル No.W32010D82P68WBM7)

c St=500 の粘度流体で圧力 35~135Kgf/cm<sup>2</sup> までの範囲で約 0.41L/min の定流量となる。

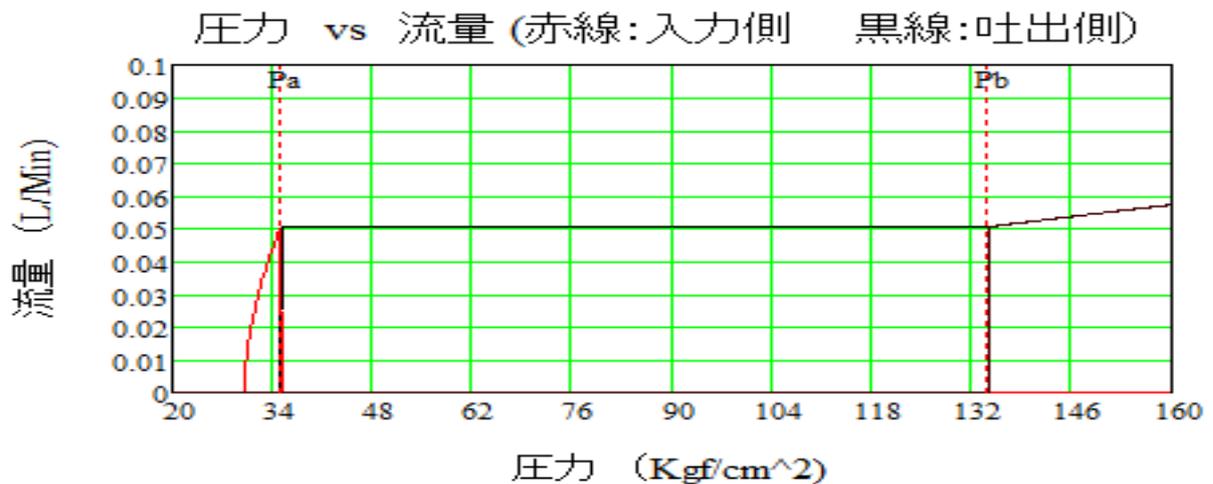
g) 液体粘度 c St500 比重 0.85 (一定流量 0.41L/min)



h) 液体粘度 c St700 比重 0.85 (一定流量 0.15L/min) 例 a)と同一設計の場合



i) 液体粘度 c St1000 比重 0.85 (一定流量 0.05L/min) 例 a)と同一設計の場合



接液部は黒染め+スプリングは SWOS-C

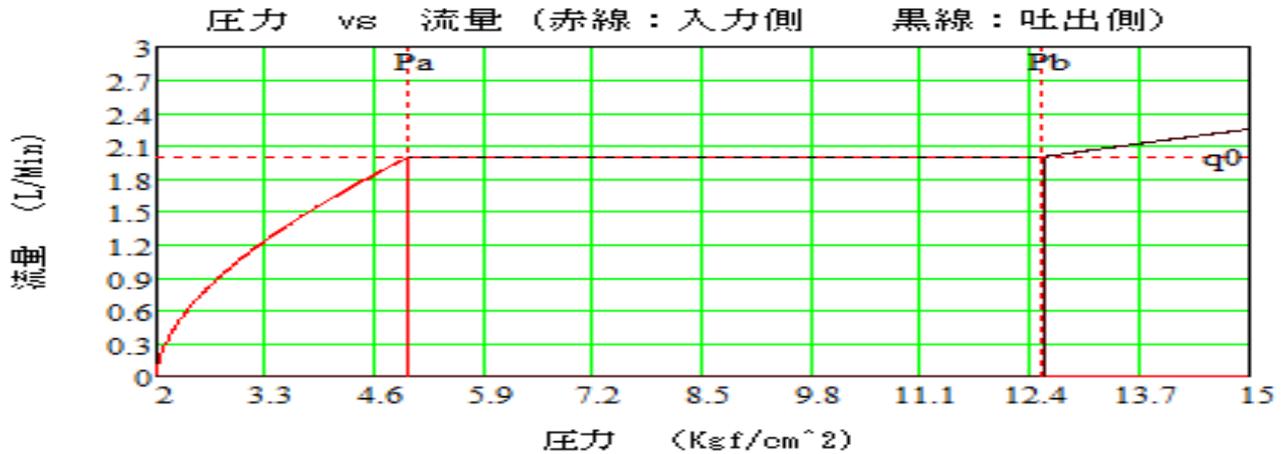
本体中にスプリング以外のエネルギー源は使用していませんので半永久使用が可能です。

定流量弁

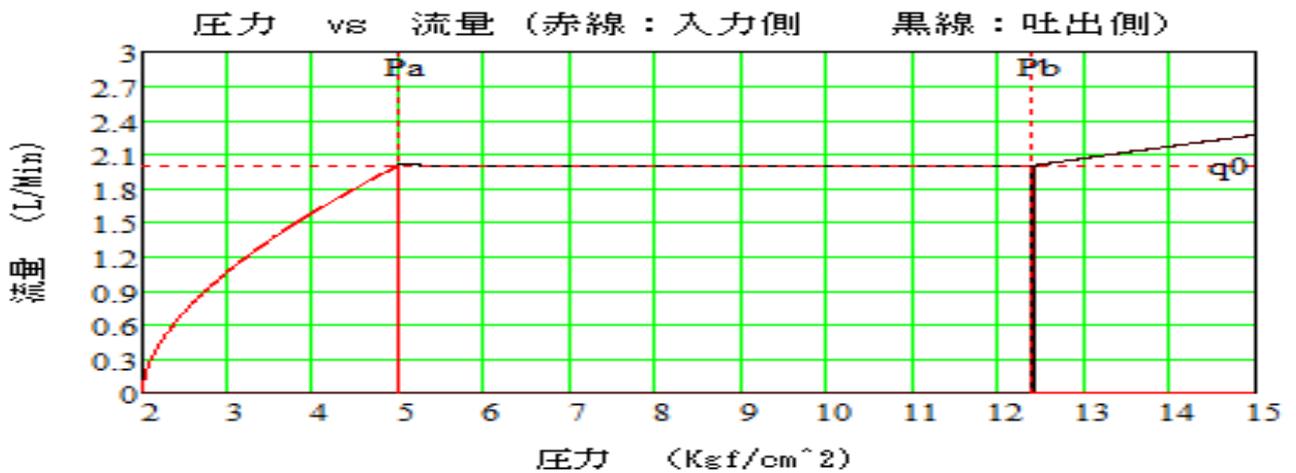
1-d) ガソリンの例 (モデル No.W16010DP155UHM7)

圧力 5~12.5Kg/cm<sup>2</sup> までの範囲で約 2L/min の定流量となる。

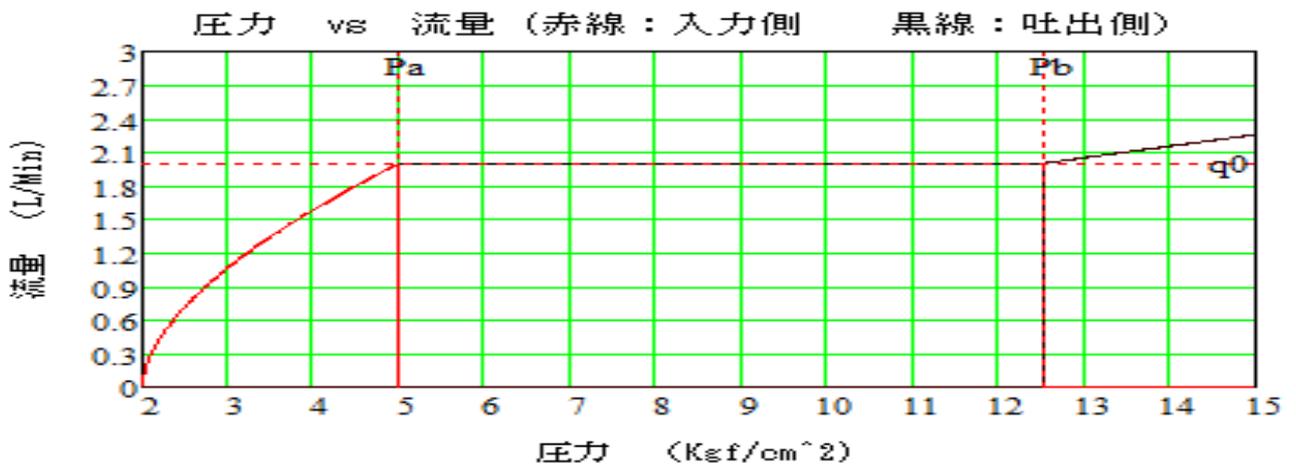
j) 油温 20℃ 比重 0.746 (一定流量 2.002~1.996L/min)



k) 油温 0℃ 比重 0.740 (一定流量 2.003~1.998L/min) a)と同一設計の時



l) 油温 30℃ 比重 0.748 (一定流量 1.997L/min) a)と同一設計の時



本体は NiP メッキ+スプリングは SUS

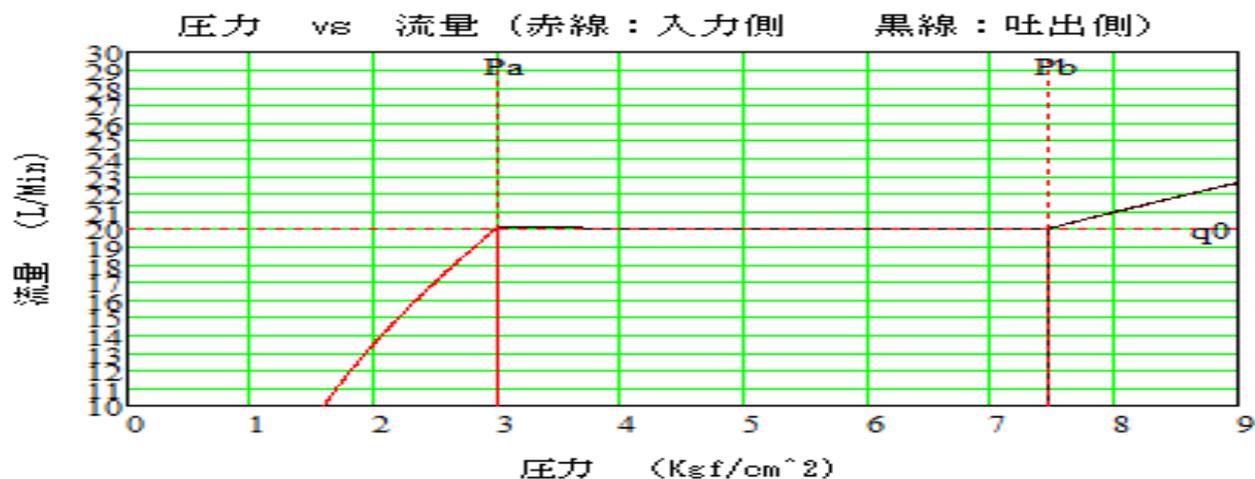
本体中にスプリング以外のエネルギー源は使用していませんので半永久使用が可能です。

定流量弁

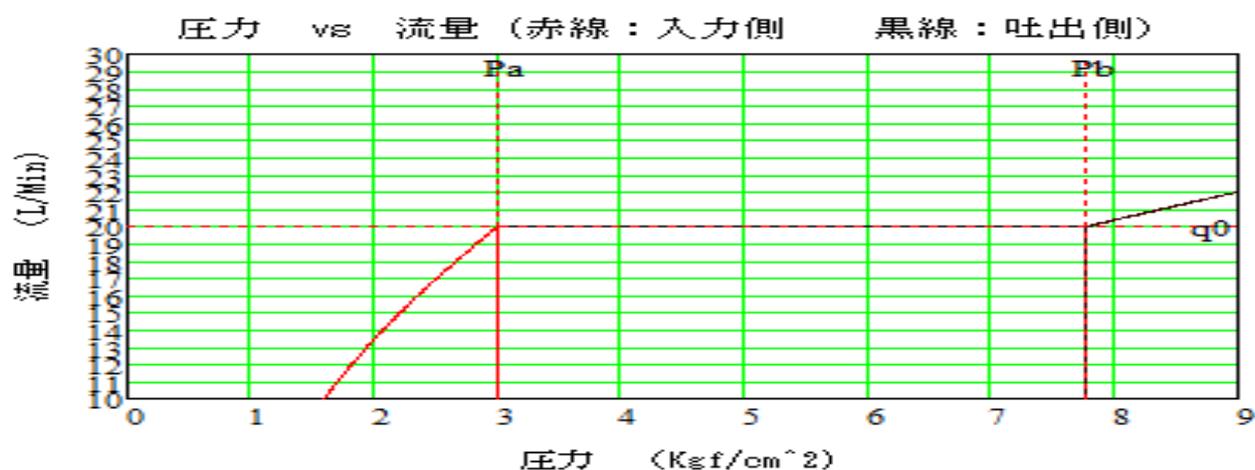
1-e) 空気の例 (モデル No. W13010D3P29UHM5)

温度 20°Cの空気で圧力 3~7.5Kg/cm<sup>2</sup> までの範囲で約 20L/min の定流量となる。

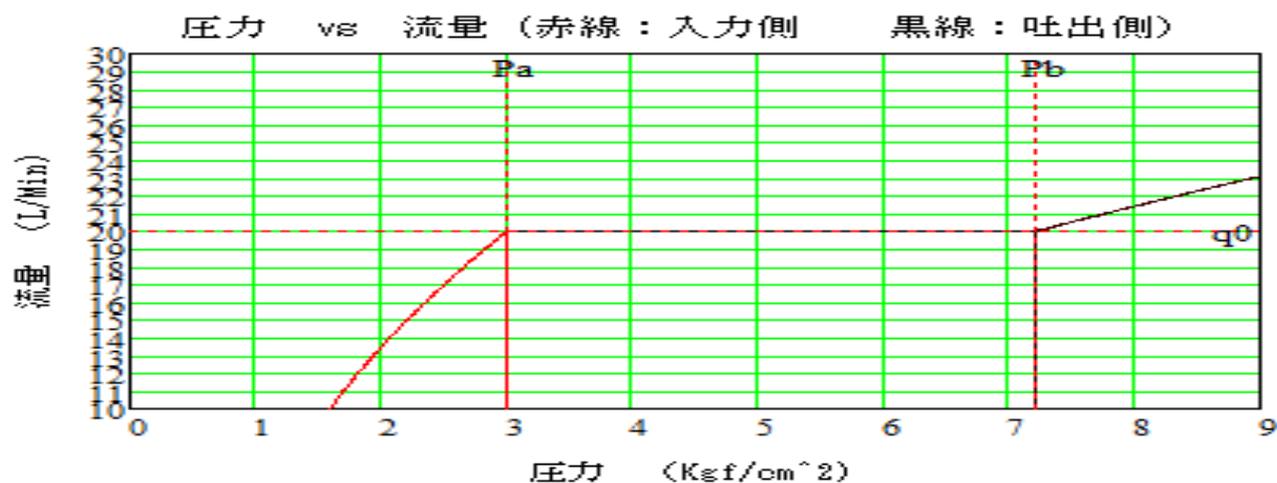
m) 20°C空気 (一定流量 20.0~20.05L/min @3.0~7.466Kg/cm<sup>2</sup>)



n) 0°C空気 (一定流量 20.0L/min @3.0~7.77Kg/cm<sup>2</sup>) a)と同一設計の場合



o) 40°C空気 (一定流量 20L/min @3.0~7.21Kg/cm<sup>2</sup>) a)と同一設計の場合



本体 NiP メッキ+スプリングは SUS

本体中にスプリング以外のエネルギー源は使用していませんので半永久使用が可能です。